

東京藝術大学プロデュース

アカペラ四重唱

うたの贈り物

平成28年2月17日(水) 18:30～19:30 (18:00開場)

●曲目

～北欧のうた～

Knut Nystedt : Laudate/Edvard Grieg : Ave, Maris stella/
Ilkka Kuusisto : Hiljainen ilta/Ola Gjeilo : Northern Lights

～山田耕筰のうた～

この道(松永ちづる編) / 松島音頭(松永ちづる編) /
曼珠沙華～「AIYANの歌」より(増田順平編) /
Meeres Stille/Ballade/Ich hab' im Traum geweinet/
Es fällt ein Stern herunter/ 赤とんぼ(松永ちづる編) /
ペイチカ(松永ちづる編) / 待ちぼうけ(松永ちづる編)

●出演



金持亜実



野間愛



黄木透



河野陽介

●主催 文化庁/霞が関コモンゲート管理組合/
新日鉄興和不動産株式会社

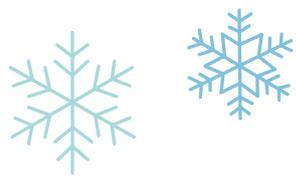
●場所 文部科学省「情報ひろばラウンジ」
(旧文部省庁舎1階)
東京都千代田区霞が関3-2-2

●入場無料(事前申込不要)

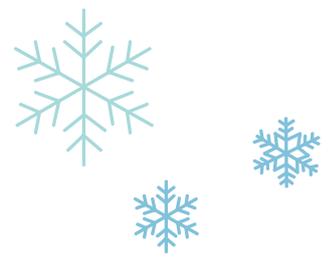
●お問合せ先
文化庁 長官官房政策課
文化広報・地域連携室
TEL 03-5253-4111 内線(2810)

霞が関から





出演者プロフィール



金持 亜実 (かなじ あみ) [ソプラノ]

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程、及び博士後期課程修了。

博士号(音楽)を取得。現在、同大学音楽文芸教育研究助手。

在学中、芸大定期第343回芸大フィルハーモニア合唱定期演奏会、東京藝術大学音楽学部附属音楽高校第25回定期演奏会にソリストとして出演。

また、同大学モーニングコンサートに推薦され、芸大フィルハーモニアと共演。

J.S. バッハ『マタイ受難曲』、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『第九』などのソリストを務める。

第24回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。

これまでに声楽を、辻宥子、三林輝夫、佐々木典子、平松英子の各氏に師事。



野間 愛 (のま あい) [アルト]

徳島県出身。徳島文理大学短期大学部音楽学部を経て徳島文理大学音楽学部声楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。卒業時にアカンサス賞および同声会賞を受賞し、読売新人演奏会と同声会演奏会に出演。

東京藝術大学バッハカンタータクラブに在籍。第61回オペラ定期公演「フィガロの結婚」にてケルビーノ役でデビュー。

これまでに稲富祐香子、熊谷公博、永井和子の各氏に師事。この春、東京藝術大学大学院オペラ科修士課程を修了予定。

黄木 透 (おうき とおる) [テノール]

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程声楽専(オペラ)卒業。

これまでに声楽を小林大作、高橋大海、川上洋司の各氏に師事。

日本トスティ歌曲コンクール2015にて第3位、秋篠ベルカント賞、聴衆賞を受賞。

シューベルト「ミサ曲第2番」「ミサ曲第6番」、ハイドン「ハルモニアミサ」、J.S. バッハ「マニフィカト」、ベートーヴェン「交響曲第9番」、第62回「藝大メサイア」のテノールソリストを務める。

また、オペラには「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ役、「セヴィリアの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵役、「愛の妙薬」ネモリーノ役、2013年藝大オペラ第59回定期公演及び新国立劇場特別公演「秘密の結婚」パオリーノ役、東京文化会館オペラBOX「泣いた赤おに」百姓役で出演。



河野 陽介 (かわの ようすけ) [バス]

茨城県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。

これまでに声楽を、寺谷千枝子、シュテファン・ゲンツ、渡邊明、渡邊一夫の各氏に師事。

ソリストとして、フォーレ「レクイエム」をアンサンブル金沢と、ベートーヴェン「交響曲第九番」を中央区交響楽団と共演。

ソロでの演奏活動の傍ら、ヴォイストレーナーとして全国各地で合唱指導に携わる。

2014年から2年連続で佐野第九演奏会において合唱指揮を務め、指揮・飯森範親氏、松尾葉子氏から絶賛を博した。

また、クラシック周辺のジャンルでは「踊る大捜査線」「サイコパス」「ジョジョの奇妙な冒険」など

劇判音楽のヴォーカリストとして数々のレコーディングに参加。

